ニュー遠州

(月1回20日発行定価1部15円)
発行　昭和50年5月20日
発行所　新遠州協会
浜松市鴨江2の24の50
TEL〈0534〉㊀5410・3711
印　刷・㈱晨星堂印刷社

政治を大衆の手に

新しい郷土建設の担い手として、同志の中から多くの議員が誕生しました。この人達が生まれてくる間には、いろいろと問題があったことも事実であります。また、どうしても働いてもらいたかった人を失った事は痛手であります。地域のことのみを考えて、時の流れを考えずに失敗した例もあります。

これらは残念ながら物事を近視眼的にみて、全体を見ることを忘れたことに帰結します。候補者を選ぶのに外部的要因のみに動かされた結果、選挙民の判断を迷わせました。個人的なエゴや地域的エゴで政治はできません。一般大衆の立場に立って物事を行っていくべきです。これらの点で今回の選挙ほど考えさせられたことはありません。一握りの人達で行なう政治を排除して誰もが参加できる真の政治のできる人を選んでいこうではありませんか。

自民党とは何か、保守とは何か

自民党の近代化、保守のあり方を皆さんもう一度考え直そうではありませんか

子供は国のたから

自民党に対する風当りを今度ほど強く感ぜられたことはありません。お互いの対立意識が、大衆を惑わし、判断をくるわせたことは衆知のとおりであります。その結果、自民党に対する不信感だけが残って、退潮の一歩をたどっているという現実をもう一度考えて頂きたい。

一般の人は自民党、社会党など党は関係ないのであります。良き先輩、指導者によってのみ党は発展を続けていくといっても過言ではありません。今日の自民党は決して一夜にしてできたものではありません。その精神は多くの先輩が血と汗と涙と絶ゆまぬ闘いによって作り出してきたものです。新遠州協会も結成以来九年目を迎え、日常活動を続けてまいりました。ことあるごとに保守の精神、あり方、自民党の近代化、大衆化というものを塩谷代議士は同志に呼びかけてまいりました。それがもろくも崩れさった感じであります。

同志の皆さんもう一度、自民党に対する友情と、同志の交流を計っていこうではありませんか。

若返った町会議員

その中にあって引佐町の町会議員が若返ったことは、以上の事に対する一点の灯かりを見い出す思いであります。ご存知の通り、引佐町は県議選において熾烈な闘いを演じ、長老と若者とが二つに別かれ、後者の中には、今まで選挙を経験したことのない人までが加わり、保守党自民党、町政の改革を叫び、意気に燃え立ち上ったのであります。そのエネルギーが、その後の町議選において、長山芳正君(35才)、内山千秋君(38才)、八幡和夫君(40才)、戸田昭郎君(41才)、野末卓君(45才)、鈴木昭嘉君(47才)ら、なんと30～40代の人達が六名も選ばれるという結果を持たらしたのです。

これは引佐町にとってはまさに革命であり、新しい動きであります。町議会は個人のものではありません。議員は大衆の代表であります。先輩指導者は若い政治家を育てていく義務があります。

政治が地位や名声のために行われたのでは、住民はたまったものではありません。長山君は『選ばれた以上、皆様の代弁者として社会の良き公僕となり、使用人となって、先輩の良き指導のもと、誠心誠意働きたい』又、『民主主義社会でのモラルというものは、お互いがそれぞれの立場を理解し、義務を遂行し、権利のみを主張せず、尊敬し合い認め合うことが必要である』と語っています。後継者は育っていくのも大切ですが、やはり育てるものであります。政治はよい姿で若人に渡して頂くと共に、同志の同志たる意味をもう一度考え直し、新しいふるさと国づくりに邁進しようではありませんか。

長山芳正君

新遠州協会

議員懇談会盛大に開催

岡本弘之県会議員が議員研修会の会長に就任

五月十日地方統一選挙後、初めての議員懇談会が、浜松グランドホテル孔雀の間で開催された。当日は、晴れの当選組と非改選組の同志ばかりの懇談会だけに、会場は和気あいあいで、定刻には来賓と市町村会議員、二百名で満員の盛況ぶり。伊藤州一秘書の手馴れた司会でスタートし、まず主催者を代表して立石健郎浜松市議会議長の吉田静雄市町村長は、代表で浜北市の吉田静雄市長が張りのある声で祝辞。続いて市町村協会長が、当選のお祝いと同志の団結を強く訴えた。

来賓として、県会議員は七選目のベテランで県連会長の和久田好造、新しく副会長になった岡本弘之、議員の内川重雄、組織委員長の伊藤武、財務委員長の神谷文吉、新人の内山千秋の各先生方の持味のある祝辞に万雷の拍手が送られた。

市町村長は、代表で浜北市の吉田静雄市長が張りのある声で祝辞。続いて市町村協会長が、当選のお祝いと同志の団結を強く訴えた。

次に登壇した塩谷代議士は、久しぶりの西部懇談会だけに顔は紅潮気味で、県連会長の立場も考慮した内容の挨拶。

地方統一選挙の反省、今国会の焦点、政治姿勢などについて謙虚に率直に訴えた。

懇親会は、湖西市の猪井善晃新市長の音頭で乾杯、佳境に入り話は選挙戦の思い出、これからの抱負に花が咲き、塩谷代議士も満足気に各テーブルで足を止めて労をねぎらった。

途中、藤田雅敏事務局長から、議員研修会の運営(一年二回)・支部組織の再編成と総会(国会報告会)・よい新遠州づくりを全員で誓い合い散会した。

会場風景　―浜松グランドホテルにて―

県連会長に和久田好造氏就任

去る十二日に行われた党大会において、塩谷会長の後任に和久田好造県議が選任された。新役員人事も同時に決定された。新しく選ばれた皆さんの今後の活躍を期待したい。

常任顧問	山本敬三郎	総務会長	羽切　松雄
〃	佐野　嘉吉	政調会長	堀江　静男
県連会長	和久田好造	組織委員長	伊藤　武
副会長	柳原　清治	広報委員長	杉山　憲夫
〃	松岡　義平	財務委員長	神谷　文吉
幹事長	小池政太郎	党紀委員長	山崎　勝二
筆頭副幹事長	湯山芳太郎	会計監督代表	遠美　栄一
		議員総会長	稲名　嘉男

見事七選を果した安藤茂市元浜松市会議長が、サビのある安藤節で祝辞は幕となった。

情宣活動などの問題について連絡するとともに、東京と浜松事務所の職員を紹介研修会の会長として岡本弘之県議の推せんを諮り決定された。

会が進むにつれて、なごやかになり、相互に当選を喜び合う風景が見られ、新遠州協会のバックボーンである明るく住み

お詫びと訂正

「ニュー遠州」4月号で編集の誤りがありました。深くお詫びして次のとおり訂正します

(新議員誕生)
豊田町
高橋文衛(新)
(削除)
細江町
沖村　清
(訂正)
浅羽町
誤　金原誠治(新)
正　金原成治
(編集局)

地方議会の動き

今回の統一地方選挙により、新しい議長、副議長が同志の中から次のとおり誕生し、県政においては周智郡選出の岡本弘之県議が副議長に就任した。今後、国、県のパイプ役となるべく、市町村の発展にその手腕がさらに期待される。

静岡県議会　副議長　岡本　弘之
浜松市議長　小杉　武光
副議長　青野　坪三
磐田市議長　高橋　進也
副議長　大石　賢三
浜北市議長　市川　一
湖西市議長　鈴木　実
竜洋町議長　鈴木　忠平
福田町議長　寺田　肇
副議長　加藤　寛
浅羽町議長　久保田利一
豊田町議長　鈴木　広
豊岡村議長　伊藤　義郎
副議長　野崎　康男
水窪町議長　斉藤　喜徳
副議長　西川　武男
竜山村議長　中村　由夫
副議長　笹原　清彦
鈴木　清一
大場　賢治
舞阪町議長　山田　時雄
新居町議長　柴田都之進

奉仕する婦人たち　一小羊学園一

〝社会奉仕の推進を〟

新遠州協会の青年部では二年前より「恵まれない人に愛の手を」と社会奉仕を進めてきました。しかし残念ながら全体的な運動には至らず、特定地区のみが行なったにすぎない現状であります。今日の日本は物質文明社会であります。景気が悪くてもさほど危機感というものを持たなくなりました。その結果、自分だけよければ良い、他の事は一切関知せず、という利己主義的な考え方を持つようになったことは衆知の通りであります。とかく、私たちは「死」という動かしがたい現実に立ちすくみ、利那主義になりがちです。でも片方では、これでいいのだろうかと反問する自分に気づくことがあります。むしろ自分を苦しめる時の方が多いのではないだろうか。

誰れも生の喜びと感動を得たいと手探りしております青年の心は渇いており、書物に、愛に、社会に飢えています。その渇望が生命の原動力となって、お互いに理解し合い、手を結びあえたら、どんなに心強く、また楽しいことでしょう。

青年は期待されております。青年は友を求めております。青年の情り、希望、夢、なんでもぶつけあって明日への活力を燃やそうではありませんか。自分のありのままの姿をさらけ出して、はじめて出発点に立てると思います。そしてそこから新しい運動が芽ばえてくると信じます。

青年よ、手を結ぼう

新遠州協会が誕生して早や九年。新しい遠州の建設に立上がろうと3Mスローガンを掲げて諸先輩たちの努力でここまで発展してきました。

しかし、まだまだ組織は十分でなく、日常活動も根が張っていないのが現状で大衆運動に発展するには、まだほど遠いようです。

そこで、もう一度同志の皆さんと、新遠州協会のあり方、運動について考え直してみたいと思います。

それには、まず同志、とくに若い青年に情熱を燃やして欲しいのです。組織のためにとは言いません。自分自身の人生に対してであります。とかく、私たちは「死」という動かしがたい現実に立ちすくみ、利那主義になりがちです。でも片方では、これでいいのだろうかと反問する自分に気づくことがあります。むしろ自分を苦しめる時の方が多いのではないだろうか。

誰れも生の喜びと感動を得たいと手探りしております青年の心は渇いており、書物に、愛に、社会に飢えています。その渇望が生命の原動力となって、お互いに理解し合い、手を結びあえたら、どんなに心強く、また楽しいことでしょう。

青年は期待されております。青年は友を求めております。青年の情り、希望、夢、なんでもぶつけあって明日への活力を燃やそうではありませんか。自分のありのままの姿をさらけ出して、はじめて出発点に立てると思います。そしてそこから新しい運動が芽ばえてくると信じます。

人間の美しい本質を信じたい

三ケ日町支部長　伊佐丈太郎

田中政権より、三木政権への移行は、小会派の容認で心温まる想いで、自民党内の結束が堅まったとの見方で国民の支持を受け、知事選を始め、統一地方選挙で概ね保守系の前進を見たが、忽ちにして党内の結束が崩れ出し醜い面が露出してきた。これと同じ様に町村の十数名の保守系議員の間にも対立的な型（かたち）がある。人間は顔や型（かたち）や育ちが違う様に、考え方がそれぞれ異っている以上、年月を経て問題にぶち当る毎に溝を深めてゆくのではないのか。

町長選の対立で、町を二分しているところも少なくない。多くの人は、これを憂えながらもどうにもならない。選挙は戦争ではなく、もうすでに実行している団体、人は多数あります。しかしながら、人に教えられたり、強制されても、このようなことはできません。何事によらず、誠意と愛情と勇気を持ってこそ可能であります。

青年、婦人、一般の同志の皆さん、大きく目を見開いて、奉仕活動を続けようではありませんか。

心のひろば

世代の交代をスムーズに

浜松青年部長　山下善彦

戦後っ子と呼ばれる最近の若い者は、一体何をやろうとしているのか、全く理解出来ない――良識のある人々は、そう思われるに違いありません。戦後三十年間に、たとえ親子といえども、大変大きな断層が出来てしまいました。一体、何故に、そんな日本になってきてしまったのでしょうか。そこに至る迄には、戦後の急激な社会構造、及び社会環境の変化も原因してきたことでしょうが、それだけではないはずです。学校教育の偏向性と家庭教育の怠慢があったのではないでしょうか。戦後、我が国日本のとった高度経済成長政策の歯車となって馬車馬のように働いて来た人達は、はたしてその間、自分達の後継者になる子供達に一体何を教育してきたのでしょうか。一方、自由主義国「日本」の色を塗りかえようと共産党は厳密なるプログラムを組み、将来を背負う子供達に偏向教育を行って来たのです。ここに至っては、その経過を深宣に反省し、若者の将来を真剣に考え、若者を導きつつ自らを正しながら、世代の交代をスムーズに行って頂きたい。

『心のひろば』は皆さんのための欄です。ご意見、ご感想、何んでも結構です。どしどしお寄せください。

支部組織だより

軍恩連盟総決起大会

5月11日　日管工業ホール

山下誠一名誉長がご病気で勇退された。誠実一途の人柄より大切にされているお大様に驚くばかり。

馬込川・芳川改修促進期成同盟会

5月16日　市民会館

昨年の七夕豪雨で被害を受けた浜松市として、今後これを繰り返さないためにも、両川の改修が必要と、土屋静雄会長、大場俊雄、山田桂副会長ら関係者が集まっての総会。伊藤武県議会建設委員長をはじめ市川、内山両県議も参加して熱心に討議。早期改修が望まれる。

浜松鉄工組合総会

5月17日　労政会館

鈴木専理事長を頂点に二百五十名を擁する総会はさすがに盛況。49年度に栄えある小企業庁長官賞を優良組合として全国表彰。それだけに団結はかたく、理事長の再選での表明も、不況対策中心の挨拶。来賓として平山浜松市長も出席しての祝辞。

大石珠算研究会　創立40周年記念式

5月18日　ふくで荘

大石昇一会長を中心に、遠州一帯に十六教場をもつ隆昌、四十年の歴史はまさに感激の歴史であろう。塩谷代議士も名誉会長として挨拶。寺田徳一福田町長さんをはじめ来賓多数で盛会な祝賀会であった。

華　展

5月18日　松　菱

恒例の華道遠盟主催の展覧会。新春の香りが会場一杯。毎年のことながら、このシーズンに寸暇をさいてしばし安らぐのはお茶と華である。塩谷代議士もしばらく我を忘れての一巡。

相　撲　展

5月18日　松　菱

袋井の相撲男として有名な石亀さんこと加藤亀弘氏が主催した珍らしい相撲展遠州にゆかりの、しかも角界で認められた貴重な記録展示品。天竜川以来また名力士を輩出していないものかとかんがんだりしていたが……。スポーツ議員であり相撲協会に親しい代議士も展示会に感謝。

浜松個人タクシー協組定期総会

5月8日　青年婦人会館

池谷理事長を中心に、この晴れある盛会。塩谷代議士も軍恩議員連盟の第五回総会は多忙な中、一日として出席、祝辞。

浜名郡身障者福祉協会第24回総会

5月11日　雄踏中央公民館

恒例の総会だが、ほとんどが役員と被表彰者の参集であった。真面目な会長さんと役員の努力で、いくたの行事が披露された。塩谷代議士も出席。

自衛隊父兄会総会

5月11日　南基地

年々さかんになる自衛隊父兄会は頼母しいかぎりである。山下大二会長のもと団結をかためている中で、同志伊藤源一さんが副会長に大活躍。代議士も国防議員連盟の世話人として祝辞。

JKC県西部展覧会

5月11日　産業展示場

寺井浩会長の西部大会。

県美容環衛組合通常総代会

5月13日　県庁西館

女性の美の一翼を荷負う美容師サンの総代会。全県下から代議員二百名が出席し、さながらファッションショーのムードら　牧野勝次郎理事長の挨拶と表彰に引き続き議事。環衛議員としての祝辞。

JKC静岡県連盟第五回総会

5月18日　静岡県教育会館

静岡県連盟の第五回総会は、静岡県下の各地区代議士が名誉会長であるので、毎年楽しみにして出席人間より大切にされているお大様に驚くばかり。

軍恩連盟総決起大会

5月11日　日管工業ホール

山下誠一名誉長がご病気で勇退された。誠実一途の人柄より大切にされているお大様に驚くばかり。

馬込川・芳川改修促進期成同盟会

5月16日　市民会館

昨年の七夕豪雨で被害を受けた浜松市として、今後これを繰り返さないためにも、両川の改修が必要と、土屋静雄会長、大場俊雄、山田桂副会長ら関係者が集まっての総会。伊藤武県議会建設委員長をはじめ市川、内山両県議も参加して熱心に討議。早期改修が望まれる。

浜松鉄工組合総会

5月17日　労政会館

鈴木専理事長を頂点に二百五十名を擁する総会はさすがに盛況。49年度に栄えある小企業庁長官賞を優良組合として全国表彰。それだけに団結はかたく、理事長の再選での表明も、不況対策中心の挨拶。来賓として平山浜松市長も出席しての祝辞。

大石珠算研究会　創立40周年記念式

5月18日　ふくで荘

大石昇一会長を中心に、遠州一帯に十六教場をもつ隆昌、四十年の歴史はまさに感激の歴史であろう。塩谷代議士も名誉会長として挨拶。寺田徳一福田町長さんをはじめ来賓多数で盛会な祝賀会であった。

華　展

5月18日　松　菱

恒例の華道遠盟主催の展覧会。新春の香りが会場一杯。毎年のことながら、このシーズンに寸暇をさいてしばし安らぐのはお茶と華である。塩谷代議士もしばらく我を忘れての一巡。

相　撲　展

5月18日　松　菱

袋井の相撲男として有名な石亀さんこと加藤亀弘氏が主催した珍らしい相撲展遠州にゆかりの、しかも角界で認められた貴重な記録展示品。天竜川以来また名力士を輩出していないものかとかんがんだりしていたが……。スポーツ議員であり相撲協会に親しい代議士も展示会に感謝。

東京トピックス

国会対策　ベルトコンベアーの役

いま、国会は提出法案が65件のうち成立したのが21件。会期末を一週間にひかえて1/3程度。塩谷代議士は国会対策副委員長、いわゆるベルトコンベアーの役。提出された法案がスムーズにベルト（各委員会）にのって流れて（審議されて）いくのを見まもる役。いうなれば縁の下の役。あまり一般うけしない、党の執行部や法案提出のお役所からは大変にその努力が感謝される。いったん事あってベルトが止まってしまった場合（これとの稲葉法相問題など）は、この国会対策（国対）の出番。野党の国対と夜昼となくとまったベルトが、再び始動するまで徹底して話し合う。今度の稲葉法相問題で、塩谷代議士はもう何日徹夜したんだろう…？おぼえがない。

人間の運命

さる19日、皇居のお堀りばたのホテルで中小企業政治連盟（中政連）の全国大会があった。（塩谷代議士は中政連の浜松支部長）元総理大臣の佐藤さん。この大会に出席し長時間講演をした。浜松支部から井柳嘉兎、加藤正夫氏が参加し午後四時半、会が終り、佐藤総裁を囲んで、僕も加わってノーベル賞の話を聞きながら記念写真をとった。ひさしぶりに佐藤さんを近くで見ておもいまわすと元気だなあ、と思った。

夕刻家に帰って食事をしながらテレビをみていてピックリ。佐藤さんが盛皿で倒れた！二時間前、元気に講演し、にこやかに写真におさまった佐藤さんが倒れた……。まさにこれが人間の運命だろうかと思って寝れなかった。

（いとう）